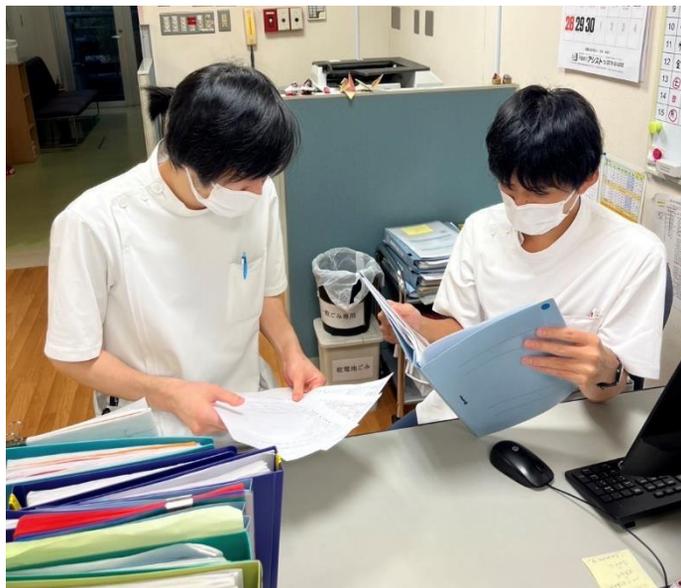




通所・訪問リハビリ開始までを0日に

現在日本では高齢者や慢性疾患をもった方が増加しています。そのような方が、在宅生活を続けるために、医療と介護の連携強化による「**切れ目の無いリハビリテーション提供**」が求められています。一般的に退院後、通所リハビリ開始までに30%前後の方が2週間以上、20%前後の方が4週間以上かかると言われています。ですが通所・訪問リハビリは開始するまでの期間が短いほど、機能回復が大きいと言われています。その為、病院と介護部門との連携強化、リハビリ職員からケアマネージャーへの情報提供、通所・訪問リハビリ利用の促しを行うことで、切れ目の無いリハビリテーションの実現を目指しています。

当院では通所・訪問リハビリテーション事業所が病院内に併設されているという特徴があり、他院と比較しても切れ目の無いリハビリテーション提供がしやすい環境となっています。今回は切れ目の無いリハビリ提供に向けて行っている取り組みについてご紹介致します。



- ①リハビリ職員から介護主任、医療ソーシャルワーカーへの情報共有
- ②入院中にリハビリ見学の実施（介護部門主任の参加による介護部門の説明）
- ③入院中の進捗報告（ケアマネージャー等へ）
- ④退院の目途が着き次第、再度介護部門主任、ケアマネージャーへ報告し、担当者会議を組んでいただく。
- ⑤退院日に併せ、口頭と紙面にて情報提供する

当院では、上記の連携を入院初期から実施しています。その効果もあり、**87%**の方が当院退院後、**2週間以内に当院通所・訪問リハビリ利用を開始**出来ています。また開始までの**平均は約7日**となっています。当院ではこの取組みにより**退院の翌日より、通所・訪問リハビリの利用が可能**となっており、実際に退院の翌日より利用を開始した方もいらっしゃいます。現在は開始まで0日ではありませんが、今後も取組みを継続して行うことで、移行まで0日を目指し、皆様が在宅生活を継続出来るよう努めていきます。

■ 医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
主治医にご相談ください。

▶ 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料
摂食機能療法



病院リハ部門 主任
丸山あすみ 田口裕一

心臓リハ部門 主任
松下知史

■ 通所リハビリテーション関越中央

1~2時間の短時間通所リハ、6~7時間の長時間
通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様
に合わせた最適なプランを提案させていただきます。

■ 訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、
心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用
頂けます。



介護リハ部門 主任
狩野和子 津久井亮

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00~10:15	○	○	○	△	○
短時間型通所リハ 2クール 10:30~11:45	△	△	○	○	△
長時間型通所リハ 9:00~15:15	○	○	○	○	○
訪問リハビリ 13:00~17:00	○	△	○	○	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

ひとことコラム 第73回

「心臓リハビリはついに遠隔へ」

皆様は遠隔医療をご存じでしょうか。遠隔医療とは、情報通信機器を活用した健康増進、医療に関する行為をさし、患者と医療者が離れた場所にいながらもコミュニケーションを行うことを言います。近年COVID19をきっかけに、これまで以上に遠隔医療についての研究が進められています。その中でも遠隔での心臓リハビリテーションに注目が集まっています。遠隔リハビリが発展すれば、自宅にいながらも、リハビリや栄養指導カウンセリング等を受けることが出来るようになります。現在は海外や、一部の施設でのみ、遠隔心臓リハビリテーションは実施・研究がされています。遠隔でもリハビリを実施することにより、①最大酸素摂取量15%増加、②6分間歩行距離約70m増加、③下肢筋力約3.0kg増加が得られ、病院でのリハビリと同等の効果が得られることが示されています。しかし現状では十分な研究がされておらず、安全性や通信機器の問題も指摘されています。当院は現状実施予定はありませんが、今後の遠隔リハビリテーションの発展には注目していきたいところです！